



尾道市立市民病院 手術支援「ダビンチXi」導入

前立腺がんの手術から施術開始

り、執刀医は操作機器の前に座って立

尾道市立市民病

院（尾道市新高山

3-11170-

177、廣岡孝彦

院長、TEL0848・

47・1155）はこ

のほど、手術支援

ロボット「ダビンチ

Xi」を導入、6

月から手術を始め

た。

ダビンチXiは

アームに取り付け

た鉗子3本と内視

鏡1本を備えてお

体画像を確認しながら手術を行う。執
刀医の手の動きに連動しつつ、手ぶれ防
止機能も備えている。同病院では同装
置を使うことでより質の高い専門的な
がん治療を提供するとしている。

患者のメリットとして、数カ所の小さ
な切開部から手術を行うため、傷が小
さく、出血も抑えられることから体への
負担が軽減されるほか、早期回復や入
院期間の短縮も期待できる。

同病院には執刀経験のある術者が泌
尿器科において、前立腺がんをはじめと
した泌尿器科での手術が対象となる。
将来的には外科での活用も計画している。

光学機能性フィルム用 コーティング装置稼働

大日本印刷三原工場

大日本印刷（東京都、北島義育社長）

は、2025年9月から三原工場（三原

市）で、25

00 mm幅対応

の光学機能性

フィルム用コー

ティング装置

を稼働させる。

2台目となる

広幅ラインの

導入により、

生産能力を面



積ベースで従
来比15%以上
向上させる計
画。

65インチ以
上の大型テレ
ビ市場は20
25～30年に
かけて年平均
6%の成長が

見込まれており、偏光板メーカー各社
の対応が進む中、同社は供給体制の強
化を図る。

新設備は、インライン多層コーティン
グが可能で、単層に比べて光の反射を抑
制し視認性を向上。加えて、新技術に
よる消費電力削減や生産プロセスの革
新により、年間のCO2排出量を約
30%削減する見込み。

今後は、中国をはじめとする偏光板
メーカー向けの供給を拡大し、26年度
に年間1100億円の売上達成を目指す。

西部運輸

福山職業能力開発短期大学校

産学連携で社内DXを推進

西部運輸（福山市箕沖町105-
17、横山立社長）は、福山職業能力開
発短期大学校（福山市北本庄4-8-
48、後藤豊校長）と連携し、2024

年問題への対応を含む物流現場のDX
推進の取り組みを始めた。

現場ニーズに即したデジタル化が進め
られると判断し、同校と協力体制を構
築。車両管理や配送スケジュール、日報
業務へのITツール導入、業務データの
収集・分析を通じたプロセスの見える化
と効率化など、具体的な取り組みを実
証実験として進める。

さらに電子情報技術科の学生と連携
し、社内システムやアプリのプロトタイ
プ開発も実施。実務を通じた学生の実
践力向上と、企業内DX人材の育成を
両立させながら、同社は現場改革と持
続可能な物流体制の構築を目指す。



「SUIGUN RIB TOURS」運航開始！
<https://www.suigunribtours.jp>